

- 問1 日本の茶の生産量に関する統計において、1位の静岡県（約38%）に次いで、全国の約3割（約31%）を占める鹿児島県では、ある特殊な地形を利用して茶の栽培が盛んに行われています。この地形の名称と農業上の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2020年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. カルデラと呼ばれ、火山が噴火してくぼんだ地形を利用して大規模な稲作が行われている。 | 2. 三角州と呼ばれ、河口付近に砂泥が積もった平坦な土地を利用して米の二期作が行われている。 | 3. 扇状地と呼ばれ、川が山地から平地に出る場所に堆積した土砂を利用して果樹園が作られている。 | 4. シラス台地と呼ばれ、水はけが良い性質を利用して茶やサツマイモなどの畑作が行われている。 |
|--|--|---|--|
- 問2 沖縄県の産業構造において、製造業などの第二次産業の割合が低く、サービス業や小売業などの第三次産業の割合が突出して高い理由として、適切なものを選択してください。（2019年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 広大な平野を利用した機械化農業が推進され、農産物の加工から販売までを行う第六次産業が製造業に代わっているため。 | 2. 亜熱帯の気候や独自の文化を求めて国内外から多くの観光客が訪れ、観光関連産業が県の経済を支えているため。 | 3. 県外からの輸送コストが高いため、原材料を輸入して製品を輸出する加工貿易型の工業が全く発達しなかったため。 | 4. 政令指定都市を中心とした都市圏が形成され、情報通信技術（ICT）関連の製造工場がすべて県外に移転したため。 |
|--|--|---|--|
- 問3 1970年代の大分県において、県内での雇用を増加させ、大都市圏への人口流出を抑える要因となった政府による都市開発の指定制度を何といいますか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|-----------|----------|-----------|
| 1. 高度経済成長拠点 | 2. 情報公開特区 | 3. 新産業都市 | 4. 学術研究都市 |
|-------------|-----------|----------|-----------|
- 問4 宮崎県において、農業産出額に占める畜産の割合が他の都道府県と比較して際立って高い理由として、自然環境や土地利用の背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 冬の寒さが厳しく、ビニールハウスを利用した施設園芸農業よりも、室内で行う畜産業の方が効率が良いため。 | 2. 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。 | 3. 大消費地である東京圏に隣接しており、鮮度が重要な生乳や精肉を短時間で出荷できる有利な立地条件にあるため。 | 4. 年間を通して降水量が極めて少なく乾燥しているため、農作物の栽培よりも家畜の管理に適している。 |
|---|---|---|---|
- 問5 九州地方南部のシラス台地において、古くから水田稲作ではなく、サツマイモなどの畑作や畜産業が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質から説明したものとして適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土壌に塩分が多く含まれており、稲の成長を阻害する性質を持っているため。 | 2. 地盤が非常に軟弱であり、重い農機具を利用した大規模な耕作に適さなかったため。 | 3. 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しかったため。 | 4. 標高が高く気温が低いため、熱帯性の作物である稲の栽培が困難だったため。 |
|--|---|---|--|
- 問6 宮崎県などの温暖な地域で見られる、ビニールハウスや温室などの施設を利用して、本来の時期よりも野菜の栽培時期を早める工夫を何といいますか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 抑制栽培 | 3. 促成栽培 | 4. 露地栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 鹿児島県の桜島周辺における降灰被害について、冬の2月には降灰が主に火口の南東方向（海側）へ広がるのに対し、夏の8月には火口の北西方向（鹿児島市街地側）へと広がることが統計的に示されています。このように、時期によって降灰の範囲が変化する要因として最も適切な説明はどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 日本付近の上空を流れる偏西風が、季節によって完全に消滅するため | 2. 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため | 3. 本州の農家に比べて土地代が圧倒的に安いので、大規模な農地で生産を行うことで、輸送費の差を考慮しても十分な利益が出る仕組みになっている。 | 4. 周辺を流れる日本海流（黒潮）が、季節によって流路を大きく変えるため |
|------------------------------------|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問8 2022年の東京都中央卸売市場における菊の出荷状況において、3月の総出荷量は約3000万本で、そのうち沖縄県産は約1200万本と4割近くを占めています。一方、9月の総出荷量は同程度ですが、沖縄県産はわずか3万本にとどまっています。このように、沖縄県が冬から春にかけての出荷に特化している理由として、経済的な背景をふまえて説明したものを選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地に運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。 | 2. 夏の台風被害を避けるために冬の栽培に特化しており、余った労働力を夏場はサトウキビ収穫に集中させることで生産費を下げている。 | 3. 本州の農家に比べて土地代が圧倒的に安いので、大規模な農地で生産を行うことで、輸送費の差を考慮しても十分な利益が出る仕組みになっている。 | 4. 冬場は航空運賃が安くなるため、その時期に合わせて集中的に出荷を行うことで、生産費と輸送費の合計を最小限に抑えている。 |
|---|--|--|---|
- 問9 九州地方の阿蘇山などで見られる、火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、山頂部が陥没するなどして形成された大規模な凹地を何といいますか。（2019年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. リアス海岸 | 2. 楯状火山 | 3. カルデラ | 4. シラス台地 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問10 九州地方南部に位置し、薩摩半島側の沿岸部に石油備蓄基地が立地している県について、その交通環境や都市整備に関する記述として最も適切なものを選択してください。（2020年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 県庁所在地では路面電車の軌道を乏生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。 | 2. 石油備蓄基地のある西側の半島には鉄道が一切通っておらず、主要な交通手段は船舶のみに限られている。 | 3. 2004年に九州新幹線が開通したが、県庁所在地周辺にシラス台地は存在せず、すべて平坦な低地に住宅地が広がっている。 | 4. 県庁所在地では地下鉄網が発達しており、路面電車はすべて廃止され、バスの利用も極めて少ない。 |
|--|---|--|--|
- 問11 鹿児島県の大隅半島付近に広く分布する、火山活動による噴出物が積み重なってできた台地について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 川の流れによって運ばれた土砂が河口付近に堆積してできた、平坦で低く湿った土地である。 | 2. 山地が沈降してできた複雑な海岸線を持ち、真珠やカキの養殖が盛んに行われている。 | 3. 火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地であり、その内部は広大な水田地帯となっている。 | 4. 灰白色の土に覆われており、水はけがよいので畑作や畜産が盛んに行われている。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 シラス台地と呼ばれ、水はけが良い性質を利用して茶やサツマイモなどの畑作が行われている。	鹿児島県に広がるシラス台地は火山灰などの堆積物で構成されており、水が地下に浸透しやすい性質を持っています。水田稲作には適さないこの土地の特性を活かし、乾燥に比較強い茶やサツマイモなどの栽培が広まりました。特に茶の栽培においては、広大で平坦な台地の特性を活かした機械化が進んでおり、全国有数の生産量を支えています。
問2	答え 2 亜熱帯の気候や独自の文化を求めて国内外から多くの観光客が訪れ、観光関連産業が県の経済を支えているため。	沖縄県は、その温暖な気候や青い海、琉球王国時代からの独自の伝統文化といった観光資源を最大限に活用しています。ホテル業、飲食業、交通機関などの観光に関連するサービス業（第三次産業）が雇用の受け皿となっているため、就業者割合が極めて高くなっています。これに対し、本州のような大規模な重化学工業の集積が少ないため、相対的に第二次産業の割合が低くなっています。
問3	答え 3 新産業都市	政府は地方への工業分散を図り、過密・過疎問題を解決するために「新産業都市建設促進法」を制定しました。大分県（大分地区）はこの「新産業都市」の指定を受けたことで工業化が進み、県内での雇用機会が創出されました。この結果、高度経済成長の終わりとともに大都市への人口流出が減少し、地方における人口還流が促進されました。
問4	答え 2 広大なシラス台地が広がり水田稲作に適さない土地が多いため、広域な土地を利用した家畜の飼育が行われてきた。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広く分布しています。この土地は水持ちが悪く、かつては大規模な水田稲作には不向きであったため、水に頼りすぎない畑作や畜産業が中心となって発展しました。現在ではこの地理的条件を背景に、肉用牛や豚、鶏などの飼育頭数で全国トップクラスを誇る有数の畜産地帯となっています。東京圏への出荷については、距離が離れているため、フェリーやトラック輸送を活用した広域流通が工夫されています。
問5	答え 3 火山噴出物でできた地層は水はけが非常に良く、水田に必要な水を貯めておくことが難しかったため。	シラス台地を構成する火砕流堆積物は粒が粗く、隙間が多いため、雨が降ってもすぐに地下へ浸透してしまう「水はけが良すぎる」という性質があります。そのため、常に水を張る必要がある水田には不向きであり、乾燥に強いサツマイモや、広大な土地を利用した豚・鶏・牛などの畜産業が発展しました。
問6	答え 3 促成栽培	宮崎県や高知県などの冬でも温暖な地域では、その気候とビニールハウスなどの設備を組み合わせた施設園芸農業が盛んです。これによって野菜の成長を早めて出荷時期をずらす方法は促成栽培と呼ばれます。主にきゅうり、ピーマン、なすなどの夏野菜が、他の地域での生産が少ない冬から春にかけて出荷されます。
問7	答え 2 季節風の影響により、季節ごとに卓越する風の向きが変化するため	日本付近では、季節によって吹く方向が変わる「季節風」の影響を強く受けます。一般的に、冬は北西から、夏は南東からの風が吹くため、火口から見て北西方向に位置する鹿児島市街地では、特に夏場に降灰の影響を受けやすくなるという地理的な特徴があります。一方、冬は北西からの風によって火山灰が南東側の海へと流されるため、市街地への影響は夏に比べて限定的になります。
問8	答え 1 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。	沖縄県は東京などの大消費地から遠いため、出荷の際の輸送費が他県よりも高くなるという不利な点があります。しかし、冬でも温暖な気候を活かせば、ビニールハウスを温めるための燃料代（生産費）を大幅に節約できます。この「節約できた生産費」によって「高い輸送費」を相殺し、他地域との競争力を保っています。9月の出荷が少ないのは、他地域でも暖房なしで生産が可能になり、沖縄の優位性がなくなるためです。
問9	答え 3 カルデラ	阿蘇山に代表されるこの地形は、大規模な噴火の際に噴火口周辺が陥没することで生まれます。阿蘇山のカルデラは世界最大級の規模を誇り、その内部には多くの人々が住み、鉄道や国道も通っています。シラス台地は火山灰が堆積してできた地形であり、リアス海岸は沈水海岸の一種であるため、形成過程が異なります。
問10	答え 1 県庁所在地では路面電車の軌道を芝生化する環境整備が行われ、バス路線と都心の結びつきも強い。	鹿児島県では、ヒートアイランド現象の緩和や景観向上を目的として、路面電車の軌道敷を芝生で緑化する事業が行われています。また、県庁所在地である鹿児島市周辺には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広がり、そこを切り開いて大規模な住宅地が造成されてきました。2004年の九州新幹線の新八代ー鹿児島中央間の先行開業以降、交通の利便性が大きく向上しています。
問11	答え 4 灰白色の土に覆われており、水はけがよいため畑作や畜産が盛んに行われている。	九州南部に広がるシラス台地は、火山活動の噴出物である灰白色の「シラス」という土の層で構成されています。この土壌は非常に水はけがよく、水を溜めることが難しいため、水田稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、あるいは肉用牛や豚などの畜産業が発展しました。

- 問1 福岡県内には、政令指定都市が2つ存在します。1つはかつて官営八幡製鉄所が置かれ、工業都市として発展した都市ですが、もう1つは九州地方最大の人口規模を誇る県の県庁所在地であり、行政や商業の機能が集中している都市です。後者の都市名を答えなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 北九州市 2. 飯塚市 3. 福岡市 4. 久留米市
- 問2 九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。
2. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。
3. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。
4. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。
- 問3 九州地方の自然環境と地形の成り立ちについて述べた文として、阿蘇山に見られる「カルデラ」の形成理由を正しく説明しているものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
1. 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。
2. 河川が山間部から平野部に出る場所に、土砂が堆積して扇状の緩やかな斜面ができた。
3. 火山灰が長年にわたって厚く積み重なり、水はけのよい広大な台地が形成された。
4. 海面の上昇や地盤の沈降によって、山がちの海岸線に複雑な入り江が形成された。
- 問4 1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）
1. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。
2. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。
3. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離れた。
4. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。
- 問5 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。（2017年 京都府公立入試 類似）
1. さけ 2. まだい 3. ほたてがい 4. かつお
- 問6 安価な外国産牛肉の輸入量が増加し、国際的な産品との競争が激しくなる中で、宮崎県の畜産農家が進めている取り組みとして適切な説明はどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 牛肉の生産を段階的に縮小し、すべての農地を輸入の影響を受けにくいサトウキビ栽培に転換する。
2. 大規模な機械化によって生産コストを輸入牛肉よりも低く抑え、価格の安さで勝負する。
3. 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。
4. 海外の安い飼料を使わず、国内産の高級な牧草のみを使用することで、販売価格を輸入品の10倍以上に設定する。
- 問7 日本の南西諸島に見られる自然環境について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。沖縄県や鹿児島県の奄美大島において、新しい観光資源としても注目されている、亜熱帯地域の海岸付近や河口の湿地に見られる樹木群の名称を含んだものを選びなさい。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
1. サンゴ礁は、河口付近の泥が堆積した湿地において、樹木とともに森を形成している。
2. マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。
3. ブナの原生林は、亜熱帯の海岸付近で見られる代表的な植物であり、湿地帯に自生している。
4. 針葉樹林は、温暖な気候の南西諸島において、海岸線の砂浜に広く分布している。
- 問8 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。
2. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。
3. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。
4. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。
- 問9 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 宮城県公立入試 類似）
1. 平野部が広大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
2. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いため。
3. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。
4. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。
- 問10 福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
1. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため
2. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため
3. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため
4. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため
- 問11 日本の主な工業地帯・地域を比較した統計資料において、製造品出荷額の総額が約8.5兆円と他の大工業地帯に比べて規模が小さく、産業構成の割合が機械工業約41.1%、金属工業約17.9%、食料品工業約16.5%となっている工業地帯はどこですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 中京工業地帯 2. 阪神工業地帯 3. 京浜工業地帯 4. 北九州工業地帯
- 問12 日本の諸地域を学習する際、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州の七つの地方区分が用いられることがあります。宮崎県を含むこの地方区分に基づいたとき、宮崎県と同じ区分に属する県の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）
1. 熊本県・徳島県 2. 福岡県・鹿児島県 3. 愛媛県・香川県 4. 広島県・岡山県
- 問13 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 化学工業 2. 食料品工業 3. せんい工業 4. 金属工業

答え合わせ・解説

問1	答え 3 福岡市	福岡県には福岡市と北九州市の2つの政令指定都市があります。北九州市は重化学工業を中心とした工業都市としての歴史が深いのに対し、県庁所在地である福岡市は、九州全域を管轄する官公庁や企業の支店が集まる地方中枢都市としての役割を担っています。
問2	答え 4 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問3	答え 1 火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して広大なくぼ地となった。	カルデラは、噴火に伴う地表の陥没によって形成される地形です。選択肢にある「火山灰が積み重なってできた台地」はシラス台地を指し、南九州（鹿児島県など）に多く見られます。阿蘇山のカルデラ内には草原が広がり、人々の居住地や耕作地、鉄道網などが整備されている点が地理的な特徴です。
問4	答え 4 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。	九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起こりました。
問5	答え 2 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせで生産することで、高い生産額を維持しています。
問6	答え 3 「宮崎牛」などの名称でブランド化を推進し、品質の高さや安全性で輸入品との差別化を図る。	貿易の自由化によって海外から安価な牛肉が大量に流入するようになり、国内の畜産業は厳しい競争にさらされています。宮崎県ではこれに対抗するため、厳しい品質基準を満たした牛肉に地域名を冠した「ブランド化」を行い、高級感や信頼性を高める戦略をとっています。このように、価格ではなく付加価値の高さで選ばれる仕組み作りが、日本の農業振興策として重要視されています。
問7	答え 2 マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の河口付近など、海水と淡水が混ざり合う「汽水域」の湿地に発達する植物群の総称です。日本では沖縄県や鹿児島県の奄美大島などに自生しており、塩分に耐える特別な仕組みを持っています。多様な生物の生息地となっていることから、その豊かな自然環境はエコツーリズムなどの観光資源としても活用されています。
問8	答え 3 シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。	鹿児島県は、その土地の多くが火山灰由来のシラス台地で占められているため、大規模な畜産施設を設けるのに適しており、豚や黒毛和牛の生産が非常に盛んです。また、畑作ではさつまいもの生産量が日本一であり、これらは加工品や飼料としても利用されています。食料自給率が100%を大きく超えているのは、県内で消費する量をはるかに上回る食料を生産し、全国各地へ供給している「日本の食料基地」としての側面を持っているためです。
問9	答え 4 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。	鹿児島県の大部分を覆うシラス台地は、火山噴出物が堆積してできたもので、水はけが良すぎるために水を溜めておくことが難しく、古くから稲作には適さない土地でした。そのため、水分をそれほど必要としないサツマイモや茶などの畑作に加え、広い土地を有効に活用できる肉用牛や豚、ブロイラーなどの畜産業が地域の基幹産業として発展しました。
問10	答え 1 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため	福岡市は「アジアの玄関口」とも呼ばれるように、韓国のソウルや釜山、中国の上海といった東アジアの主要都市に非常に近い位置にあります。特に韓国とは、東京へ移動するよりも短時間で往来できる場合があり、格安航空会社（LCC）の就航も盛んなことから、アジア圏からの観光客が利用しやすい環境が整っています。この地理的優位性が、特定の国からの高い利用割合に結びついています。
問11	答え 4 北九州工業地帯	北九州工業地帯は、中京工業地帯（約54.6兆円）や阪神工業地帯（約31.0兆円）などの他の四大工業地帯と比較して、出荷額の規模が最も小さいことが統計上の特徴です。産業構成では、歴史的な背景から金属工業のイメージが強いものの、現代のデータでは機械工業が最大の割合を占めており、次いで金属、食料品の順になっています。この構成比と総額の規模感から判断することが求められます。
問12	答え 2 福岡県・鹿児島県	宮崎県は九州地方に分類されます。選択肢のうち、福岡県と鹿児島県はいずれも宮崎県と同じ九州地方に属する県です。愛媛県、香川県、広島県、岡山県、徳島県は中国・四国地方に分類されるため、宮崎県とは異なる地方区分となります。このように地方区分を理解することは、日本全体の地域的特徴を把握する上での基本となります。
問13	答え 1 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。

4. 富山県

4. ① 鉄道の貨物ターミナル ② 鉄鋼
③ 船舶輸送

4. 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。

4. 石油コンビナートの煙突から排出された硫黄酸化物が大気を汚染し、周辺住民に激しいせきやぜんそくの症状をもたらした。

4. 太平洋側を流れる親潮の影響で霧が発生しやすくなり、夏でも気温があまり上がらない冷涼な気候となる。

4. 熊本県

4. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため

4. 観光業やサービス業を主体とする 第三次産業

4. カルデラ

4. 乳用牛

4. 弘前市

4. 関東ローカル

4. 駅の西側に位置する高等学校の敷地が大幅に拡大され、新たな校舎が建設された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鹿児島県	農業産出額の過半数を畜産が占めている点は、鹿児島県農業の最大の特徴です。北海道も大規模な農業を行っています。1農家当たりの耕地面積や、シラス台地という地形的特徴に基づいた畜産への特化という文脈から鹿児島県が判断されます。肉用牛、豚、鶏のいずれも全国トップクラスの生産量を維持しています。
問2	答え 1 ① 高速道路のインターチェンジ ② 集積回路（IC） ③ 航空輸送やトラック輸送	九州地方では、1970年代以降に九州自動車道などの高速道路網が整備されたことで、内陸部への工業進出が加速しました。特に空港や高速道路のインターチェンジ付近には、製品の重量が軽く、迅速な輸送が求められる集積回路（IC）の工場が集中しています。これらは重量のある原料を輸入し、製品を輸出する沿岸部の重化学工業とは異なる立地条件を持っています。
問3	答え 4 1戸あたりの飼育頭数が大幅に増加し、経営の大規模化が進んだ状況。	飼育戸数が50分の1程度に減少しているにもかかわらず、飼育されている豚の総数が減っていないということは、1つの農家が非常に多くの豚を飼育するようになったことを示しています。これは、資本を集中させて機械化や効率的な設備導入を行い、競争力を高める「経営の大規模化」が進展した結果です。
問4	答え 1 化学工場の排水に含まれたメチル水銀が魚介類の体内で濃縮され、それを摂取した住民に深刻な神経被害をもたらした。	水俣病は、化学工場（チッソ）から八代海（不知火海）へ排出されたメチル水銀（有機水銀）が原因です。この物質が食物連鎖を通じて魚介類の体内に蓄積し、その魚介類を日常的に食べた人間の中枢神経に障害を与えました。カドミウムが原因なのはイタイイタイ病、硫酸酸化物が原因なのは四日市ぜんそくの説明です。
問5	答え 2 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。	九州地方は、太平洋側に黒潮（日本海流）、日本海側に対馬海流という2つの暖流が流れています。暖流は周囲の空気を暖める性質があるため、これらの海流の影響を受ける九州地方の沿岸部では、冬でも氷点下になる日が少なく、温暖な気候が保たれます。選択肢にあるリマン海流や親潮は寒流であり、これらは主に北日本などの気候に影響を与えるものです。
問6	答え 2 佐賀県	九州地方の北西部において、福岡県と長崎県の間に位置し、北と南で異なる海（玄界灘と有明海）に面しているのは佐賀県です。南側の有明海は遠浅の干潟が発達しており、ノリの養殖が盛んである一方、北側の玄界灘は対馬海流の影響を受けるなど、一つの県の中で多様な自然環境を有しているのが特徴です。
問7	答え 2 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。	1970年代に入り高度経済成長が終わりの時期を迎えると、それまで続いていた地方から三大都市圏への大規模な人口流出（移住）が落ち着きました。これに加え、地方における雇用創出の取り組みが実を結んだことで、大分県などの地方都市において人口の増加が見られるようになりました。バブル経済による地価高騰は1980年代後半の出来事であり、時代背景が異なります。
問8	答え 4 観光業やサービス業を主体とする第三次産業	沖縄県は低緯度に位置するため、冬でも気温が下がりにくく、一年を通して温暖な気候に恵まれています。この気候やサンゴ礁が広がる海などの豊かな自然資源は、観光客を引きつける大きな魅力となっています。その結果、宿泊業や飲食業、小売業などのサービス業を含む第三次産業が、県内の就業者数や生産額において極めて高い比率を占める産業構造となっています。
問9	答え 4 カルデラ	火山の噴火によってマグマが放出され、空洞になった地下に地表が落ち込むことで形成される大きなくぼ地をカルデラと呼びます。阿蘇山はこのカルデラの中に人々が生活する集落や鉄道があるほど巨大な規模を持っており、鹿児島湾も北部の「始良カルデラ」などに海水が入り込んで形成されたものです。シラス台地は火山灰が堆積してできた平坦地であり、形成の仕組みが異なります。
問10	答え 1 豚	宮崎県は九州地方南部において、鹿児島県などとともに日本屈指の畜産地帯を形成しています。特に豚の飼育頭数は全国的に見ても非常に多く、広大な山地が多い地形的制約がある中で、生産性の高い畜産業が県の経済を支える重要な産業となっています。
問11	答え 2 那覇市	沖縄県の県庁所在地は那覇市です。那覇市は沖縄本島の南部に位置し、政治・経済・文化の拠点となっています。選択肢にある弘前市（青森県）、浜松市（静岡県）、松本市（長野県）はいずれも各県において重要な都市ですが、県庁所在地ではありません。
問12	答え 3 シラス	鹿児島県などの南九州に広く分布するこの地層は、過去の巨大カルデラ噴火による火砕流などの噴出物が堆積してできました。多孔質で水はけが極めて良いため、稲作には不向きですが、サツマイモや茶などの畑作が盛んに行われています。関東地方に見られる火山灰層である関東ロームと混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 2 美術館の南側に、開いた本の形をした地図記号で表される図書館が新たに設置された。	1983年時点では見られなかった「開いた本」の形をした地図記号が、2004年の状況では美術館の南側に追加されており、公共施設の整備が進んだことがわかります。選択肢にある城山の削平や駅西側の高校の建設については、この期間の主要な変化としては確認されません。

- 問1 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）
1. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。
 2. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。
 3. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。
 4. 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。
- 問2 大分県の自然環境と気候の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 中央部に険しい山脈が南北に走っているため、東部は瀬戸内海の影響を受けて年間を通じて雨が少なく、西部は夏に降水量が集中する。
 2. 全域が典型的な日本海側気候に属しており、冬の季節風が運ぶ湿った空気によって、県内全域で平野部でも大量の積雪が見られる。
 3. 県の中央部を東西に横断する山地の影響で、北部は一年中温暖で雨が少なく、南部は冬の季節風が山を越えて吹き下ろすため降雪量が多い。
 4. 県の中央部に比較的なだらかな山地が東西にのびており、北部は冬の季節風の影響で降水量が多く、南部は一年を通じて温暖で降水量が少ない。
- 問3 沖縄県の農業経営において、菊の栽培が冬から春にかけて盛んに行われている要因と、その仕組みの組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）
1. 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。
 2. 菊の需要が最も高まる9月の出荷をあえて控え、競合が少ない3月の卒業・入学シーズンに絞ることで輸送費の無駄を省いている。
 3. 労働力不足を補うために、冬場だけ働く季節労働者を全国から集め、生産費を一定に保つ工夫をしている。
 4. 夏場の冷涼な気候を活かして他の産地の品不足を補い、高い輸送費を払っても利益が出るような高い販売価格を設定している。
- 問4 火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
 2. 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
 3. 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
 4. 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
- 問5 熊本県に位置する阿蘇山では、大規模な噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没して「カルデラ」と呼ばれる地形が作られました。この地形の利用や特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. カルデラの急斜面を利用して、大規模な稲作や果樹園が展開されている。
 2. カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。
 3. カルデラの底部には常に水が溜まっており、巨大な湖としてのみ利用されている。
 4. カルデラの周囲は火山灰が堆積したシラス台地となっており、サツマイモ栽培が盛んである。
- 問6 ある都市の気象統計において、6月や7月の梅雨の時期に降水量が多く、さらに9月に台風の影響で年間最大の降水量のピークが見られる気候的特色を持つ都市はどこですか。また、その主な要因は何ですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）
1. 周囲を高い山々に囲まれた盆地であり、年間を通して降水量が非常に少ない長野市
 2. 南西諸島に位置し、年間を通して気温が高く、梅雨の時期が本土より早い那覇市
 3. 日本海を流れる対馬海流の影響を受け、冬の降水量が夏よりも多くなる福岡市
 4. 太平洋からの季節風が九州山地に遮られることや、台風の通り道となることが要因である宮崎市
- 問7 日本の火山に関連する地形の説明のうち、カルデラの形成過程や特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 火山の大規模な噴火により、地表が陥没するなどしてできた大きな平坦な盆地である。
 2. 火山の噴出物が風によって運ばれ、広範囲にわたって厚く堆積した平坦な台地である。
 3. 海岸付近で土砂が堆積し、低くて平らな土地が広がった地形である。
 4. 河川が山間部から平野へ流れ出る出口において、土砂が扇状に堆積した地形である。
- 問8 福岡県内には、政令指定都市が2つ存在します。1つはかつて官営八幡製鉄所が置かれ、工業都市として発展した都市ですが、もう1つは九州地方最大の人口規模を誇る県の県庁所在地であり、行政や商業の機能が集中している都市です。後者の都市名を答えなさい。（2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 飯塚市
 2. 福岡市
 3. 久留米市
 4. 北九州市
- 問9 福岡県の産業と言えば、かつては北九州工業地帯の重化学工業が中心でしたが、近年では県庁所在地である福岡市などの都市部を中心に、どのような産業の集積が進んでいますか。適切なものを選びなさい。（2021年 東京都公立入試 類似）
1. 情報通信やソフトウェア設計
 2. ビニールハウスを用いた促成栽培による園芸農業
 3. 冷涼な気候を活かした食料品製造業
 4. 火山灰が堆積した土地を利用した大規模な酪農
- 問10 日本の地方別畜産産出額に関する統計において、九州地方はある品目の産出額が約3348億円に達し、北海道や東北、関東といった他の地方を大きく引き離して全国で最も高い水準にあります。この品目は何ですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 乳用牛
 2. 豚
 3. 肉用牛
 4. 鶏
- 問11 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。（2024年 愛知県公立入試 類似）
1. 大分県
 2. 宮崎県
 3. 鹿児島県
 4. 福岡県
- 問12 日本の諸地域の気候を比較したとき、那覇市の平均気温や降水量の特色について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
1. 亜熱帯に近い気候のため、年間の降水量は日本で最も少ない部類に入る高松市よりも、すべての月において下回ることはない。
 2. 年間の平均気温は福岡市などの九州地方の都市よりも低くなるが、梅雨や台風の影響で年間の降水量は非常に多い。
 3. 夏と冬の気温差が非常に大きく、札幌市などの北日本の都市と同様に、冬の降水量が1年の中で最も多くなる。
 4. 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。	宮崎市の気候データでは、低緯度であることと暖流の影響により、冬場の気温が他地域に比べて高いことが最大の特徴です。降水量の推移については、初夏の梅雨（6月）と秋の台風（9月）の時期に明確な山（ピーク）が形成され、年間の合計降水量も全国的に見て高い水準になります。選択肢にある「冬の降水量が1年で最も多い」ものは日本海側の気候、「年間の降水量が1200mm程度と非常に少ない」ものは降水が遮られる瀬戸内側の気候の特徴を示しています。
問2	答え 4 県の中央部に比較的なだらかな山地が東西にのびており、北部は冬の季節風の影響で降水量が多く、南部は一年を通じて温暖で降水量が少ない。	大分県の中央部には東西方向になだらかな山地が広がっています。この地形的要因により、冬には北からの湿った季節風が山地にぶつかることで県北部に降水（降雪）をもたらします。一方で、南部はこれらの山地に遮られることや、黒潮などの影響を受ける地理的条件から、年間を通じて温暖で、北部と比較すると冬の降水量は少ない傾向にあります。
問3	答え 1 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。	沖縄県の菊栽培は、自然環境の利点を経済的な不利な条件（距離の遠さ）の解決に結びつけた合理的な農業経営の代表例です。冬に暖房機を使わず栽培できることは、生産コストの面で非常に大きなメリットとなります。2022年のデータでも、冷え込みが厳しい3月に出荷のシエアが高まっている一方で、暖房が不要な9月にはシエアが極端に低くなっていることから、この経済的な仕組みが裏付けられます。
問4	答え 3 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる	季節風（モンスーン）は、夏は海洋から大陸に向かって（南東から北西へ）、冬は大陸から海洋に向かって（北西から南東へ）吹くという性質があります。この風向きの影響で、火口から放出された火山灰は、夏には北西に位置する市街地へ運ばれ、冬には南東方向の海側へと流されることとなります。この気候特性は、その地域の生活や防災対策に大きな影響を与えています。
問5	答え 2 カルデラ内には広大な草原が広がり、牛や馬の放牧が行われている。	阿蘇山のカルデラ内やその外輪山には広大な草原が形成されており、古くから畜産（放牧）が盛んに行われてきました。シラス台地は主に鹿児島県から宮崎県にかけて広がる地形で、阿蘇山そのものの特徴とは区別して理解する必要があります。
問6	答え 4 太平洋からの季節風が九州山地に遮られることや、台風の通り道となることが要因である宮崎市	月別の降水量において、夏季の季節風の影響で6～7月の雨量が多く、かつ9月に台風による突出したピークが見られるのは宮崎市の典型的な雨温図の特徴です。九州山地が湿った空気を遮る壁の役割を果たすため、その東側に位置する宮崎側で降水が促されます。那覇市はより早い時期に梅雨入りし、福岡市は日本海側の気候の影響を受けるため、このような極端な秋のピークは現れにくい傾向にあります。
問7	答え 1 火山の大規模な噴火により、地表が陥没するなどしてできた大きなくぼ地である。	火山活動において、大量のマグマが噴出した後に地下に空洞ができ、そこが重みで陥没することで広大な凹地（くぼ地）が生まれます。これをポルトガル語で「鍋」を意味する言葉からカルデラと呼びます。シラス台地は火山灰の「堆積」による台地であり、扇状地は河川の「運搬・堆積作用」によるもので、カルデラとは形成の仕組みが明確に異なります。
問8	答え 2 福岡市	福岡県には福岡市と北九州市の2つの政令指定都市があります。北九州市は重化学工業を中心とした工業都市としての歴史が深いのに対し、県庁所在地である福岡市は、九州全域を管轄する官公庁や企業の支店が集まる地方中枢都市としての役割を担っています。
問9	答え 1 情報通信やソフトウェア設計	福岡県は九州地方の経済の拠点であり、人口約154万人を擁する県庁所在地の福岡市などを中心に、高度な技術や知識を必要とするソフトウェア設計や情報通信関連の企業が数多く進出しています。これは、都市部に優秀な人材が集まりやすく、オフィスや通信環境が整っているためです。なお、促成栽培は宮崎県、大規模な酪農は北海道などで盛んな産業です。
問10	答え 3 肉用牛	九州地方、特に鹿児島県や宮崎県は日本有数の畜産地帯です。広大な土地や気候条件を活かし、肉用牛の生産規模は全国で突出しています。一方で、乳用牛については北海道が全国の産出額の過半数を占めており、九州地方の特色とは異なります。
問11	答え 1 大分県	九州地方は全体として火山が多く地熱資源が豊富ですが、その中でも北東部に位置する大分県は、国内最大級の地熱発電所である八丁原発電所などを有し、地熱発電量が全国トップクラスとなっています。また、統計資料において、鹿児島県や宮崎県ほどではないものの豚の飼育が行われており、農業・工業・エネルギー産業がバランスよく展開されているのが特徴です。
問12	答え 4 年間を通じて気温が高く、1月と7月の平均気温の差は、内陸に位置する松本市などの都市と比べて小さい。	那覇市は低緯度に位置し、周囲を海に囲まれた海洋性の気候であるため、年間を通じて平均気温が高く、夏と冬の気温差（年較差）が小さいのが特徴です。これに対し、内陸にある松本市などは放射冷却などの影響で冬の冷え込みが厳しく、気温の年較差が大きくなります。また、那覇市は梅雨や台風の影響で降水量は多い傾向にありますが、時期や年によっては他の都市よりも少なくなることもあり、常に他の都市を上回るわけではありません。

- 問1 沖縄県などの琉球石灰岩が広く分布する地域では、雨水が地中に浸透しやすく農業用水の確保が大きな課題となってきました。この課題を解決するため、サトウキビ畑などが広がる地層において、水を通しやすい琉球石灰岩の層と、その下にある水を通しにくい泥岩層との間に「止水壁」を設け、地下水の流れをせき止めて貯水する施設を何と呼びますか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 貯水池 2. ため池 3. 湧水地 4. 地下ダム
- 問2 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. 酪農 2. 稲作 3. 近郊農業 4. 園芸農業
- 問3 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. マングローブ 2. サンゴ礁 3. なつめやし 4. バナナ
- 問4 九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 三角州 3. カルデラ 4. 盆地
- 問5 鹿児島県のシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモなどの畑作や畜産業が中心となってきた理由を、土地の性質に着目して説明したものととして正しいものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 土地が非常に低く湿っており、大雨のたびに冠水するため、水田を維持することが困難だったから。 2. 土地に含まれる火山性の成分が米の根を枯らしてしまうため、植物の栽培自体が不可能だったから。 3. 標高が非常に高く年間を通じて気温が低いため、米の成長に必要な積算温度が不足していたから。 4. 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。
- 問6 九州南部の地図において広範囲に描かれる、過去の火山活動による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なって形成された台地状の地形を何と呼びますか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 扇状地 3. 三角州 4. カルデラ
- 問7 人口の増減を分析する際、特定の地域において出生数が死亡数を上回ることによって生じる人口増加のことを何といいますか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
1. 転入超過 2. 人口密度の上昇 3. 自然的増加 4. 社会的増加
- 問8 九州地方の各県の産業を比較した統計資料において、豚の飼育頭数やきゅうりの生産量、製造品出荷額が一定の規模を有し、かつ「地熱発電量」が約823百万kWhと非常に多く、全国的にも上位に位置する県はどこか、名称を答えなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
1. 福岡県 2. 鹿児島県 3. 大分県 4. 宮崎県
- 問9 九州地方の中西部に位置し、東は宮崎県と大分県、北は福岡県、南は鹿児島県に隣接する県があります。この県の南西端に位置する沿岸部の都市で発生した、四大公害病の一つに数えられる公害病の名称と、その舞台となった都道府県名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 水俣病 ― 熊本県 2. 四日市ぜんそく ― 三重県 3. イタイイタイ病 ― 富山県 4. 新潟水俣病 ― 新潟県
- 問10 九州地方の南端に位置する鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 有明海に面した干拓地を利用して、大規模な海苔の養殖が行われている。 2. 県全体がなだらかな平野で構成されており、日本有数の米どころとなっている。 3. 九州新幹線の全線開通により、宮崎市との間の移動時間が大幅に短縮された。 4. シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。
- 問11 九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県 2. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県 3. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県 4. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県
- 問12 熊本県の農業産出額の内訳を分析したとき、野菜と畜産の産出額がいずれも1,100億円を超えている状況から読み取れる、この地域の農業の強みとしてふさわしい説明を選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 米の産出額が他の品目を圧倒しており、単作地帯としての特色が強い。 2. 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。 3. 農産物の輸出に特化しているため、国内向けの野菜や畜産の生産額は極めて低い。 4. 野菜の産出額は高いものの、畜産や果実の生産は減少傾向にあり、特定の品目への依存が進んでいる。
- 問13 日本の農業産出額の内訳において、ある県では「畜産」の割合が全体の約半分を占めており、米や果実中心の県に比べて圧倒的に高くなっています。このような特色を持つ、南九州に位置する県はどこですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 青森県 2. 鹿児島県 3. 愛媛県 4. 新潟県
- 問14 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の巨大な火山活動による噴出物が厚く積み重なって形成された広大な台地を何と呼びますか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. 甲府盆地 3. 筑紫平野 4. カルデラ
- 問15 九州地方の南東部に位置し、ピーマンやキュウリなどの生産が盛んな宮崎県では、出荷時期を早める「促成栽培」が行われています。このような工夫を凝らした農業が行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
1. 大消費地である東京や大阪に近いため、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため 2. 夏の極端な高温や乾燥による被害を避けるため、収穫を春までに終わらせるため 3. ダムや水路などのかんがい施設を効率的に利用し、一度に大量の野菜を収穫するため 4. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地下ダム	沖縄県の宮古島などに代表される琉球石灰岩地帯では、地表に降った雨が岩の隙間からすぐに地下へ抜けてしまう性質があります。そこで、地下の不透水層（水を通さない層）である泥岩の上に、コンクリートなどで「止水壁」という壁を建設し、地下水の流れをせき止めることで、サトウキビ栽培などの農業用水を安定的に供給する仕組みが導入されました。地上の土地を有効活用しながら、蒸発による損失を防いで水を貯められる利点があります。
問2	答え 4 園芸農業	宮崎県は太平洋を流れる暖流である黒潮の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜を栽培する園芸農業が発達しました。特に、他の地域よりも出荷時期を早めて高値で販売する「促成栽培」が、平野部を中心に広く行われています。
問3	答え 1 マングローブ	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の、海水と淡水が混ざり合う汽水域の海岸沿いに発達する植物群落のことです。常に葉をつけている常緑広葉樹であり、その複雑に絡み合った根の構造が、波のエネルギーを吸収・緩和して背後の陸地を守る天然の防波堤として機能しています。
問4	答え 3 カルデラ	阿蘇山は、大規模な噴火によって地表が陥没してできた「カルデラ」を持つことで世界的に知られています。この地形は熊本県の象徴的な景観の一つであり、カルデラの内部には草原が広がり、人々の生活圏や農地も存在しています。
問5	答え 4 土壌の粒子が粗く水はけがよすぎるため、稲作に必要な水を地表に蓄えるのが難しかったから。	シラス台地を覆う火山噴出物は、水が地下へ浸透しやすい（水はけがよい）という性質を持っています。このため、常に水を張っておく必要がある水田稲作には不向きな土地柄でした。その結果、厳しい土地条件でも育つサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した畜産業がこの地域の特色ある農業として確立されました。
問6	答え 1 シラス台地	九州南部、特に鹿児島県から宮崎県にかけて広がるこの地形は、大規模な噴火によって噴出された火砕流堆積物などがもとになっています。白っぽい色をしていることからその名がつけました。水はけが非常に良すぎるという特徴があり、大規模な水田開発が難しかった歴史背景があります。
問7	答え 3 自然的増加	出生数と死亡数の差によって生じる人口の変動を自然的増減と呼びます。出生数が死亡数を上回れば「自然的増加」、逆であれば「自然的減少」となります。これに対し、進学・就職などの移動による増減は「社会的増減」と呼ばれ、両者を区別して理解することが重要です。
問8	答え 3 大分県	九州地方は全体として火山が多く地熱資源が豊富ですが、その中でも北東部に位置する大分県は、国内最大級の地熱発電所である八丁原発電所などを有し、地熱発電量が全国トップクラスとなっています。また、統計資料において、鹿児島県や宮崎県ほどではないものの豚の飼育が行われており、農業・工業・エネルギー産業がバランスよく展開されているのが特徴です。
問9	答え 1 水俣病 ― 熊本県	熊本県は九州地方の中西部に位置する県で、その南西部の沿岸に位置する水俣市では、工場排水に含まれるメチル水銀が原因で水俣病が発生しました。これは日本の高度経済成長期に深刻な社会問題となった四大公害病の一つです。新潟水俣病は新潟県の阿賀野川流域、イタイイタイ病は富山県の神通川流域、四日市ぜんそくは三重県四日市市の石油コンビナート周辺で発生しました。
問10	答え 4 シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。	鹿児島県は九州南部に位置し、火山灰が降り積もってできたシラス台地が広く分布しています。この土地条件を活かして豚やブロイラー（鶏）などの畜産業が非常に盛んで、特に「かごしま黒豚」などは全国的に有名なブランドとなっています。また、九州新幹線の全線開通は博多（福岡県）や新大阪方面との移動時間を大幅に短縮しましたが、宮崎市は新幹線のルートには含まれていません。
問11	答え 1 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県	宮崎県は広大な土地や気候条件を背景に、ブロイラーや豚などの飼育が盛んな「畜産王国」としての側面を持っています。対して福岡県は、北九州工業地帯の歴史的背景や、近年の自動車工場の進出などにより、九州の工業を牽引する立場にあります。選択肢に含まれる佐賀県は、平野部で米の生産が盛んですが、工業出荷額や畜産の割合で宮崎県や福岡県を上回ることはありません。
問12	答え 2 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。	熊本県は、阿蘇の外輪山周辺での畜産や、平野部での野菜栽培など、多様な地形を活かした農業が行われています。統計においても、野菜（1,247億円）と畜産（1,147億円）という、本来は異なる形態の農業が共に出色な数値を記録しており、バランスの取れた産出構造であることが、地域の農業の安定性と強みにつながっています。
問13	答え 2 鹿児島県	鹿児島県は、宮崎県とともに南九州の畜産地帯を形成しています。火山灰が堆積してできたシラス台地は水はけが良すぎたため、伝統的に稲作よりも畑作や畜産が行われてきました。現在では、肉用牛（黒毛和牛）、豚（黒豚）、鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国トップクラスであり、農業産出額の約半分を畜産が占めるという際立った特色を持っています。
問14	答え 1 シラス台地	九州地方南部には、過去の火山活動に由来する火砕流堆積物が広範囲に分布しています。この白っぽい砂状の土壌からなる台地は、水はけが非常に良く水持ちが悪いため、かつては稲作に不向きな土地とされてきました。そのため、現在でもサツマイモや茶などの畑作、あるいは大規模な畜産が盛んな地域となっています。
問15	答え 4 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため	多くの産地から野菜が出回る時期は市場価格が下がりますが、促成栽培によって品薄な時期に出荷できれば、有利な価格で取引されます。これは地域の農業をブランド化し、農家の収益を安定させるための重要な戦略となっています。

- 問1 日本の農業に関するある統計資料において、第1次産業に従事する人の割合が全国平均より高く、さらに食料自給率が190%という極めて高い数値を示している鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。

2. 広大な土地と冷涼な気候を活かし、乳牛の飼育を中心とした酪農や、大規模な機械化による畑作が行われている。

3. 四国地方に位置しており、黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が産業の中心である。

4. 日本海側に位置しており、冬の積雪を活かした稲作が盛んで、銘柄米の生産に力を入れている。
- 問2 日本の諸地域のうち、年平均気温が23度を超え、最も寒い1月でも平均気温が15度を下回らない温暖な気候が特徴である、沖縄県の県庁所在地を次の中から選びなさい。（2024年 長野県公立入試 類似）

1. 那覇市

2. 石垣市

3. 名護市

4. 沖縄市
- 問3 九州地方の冬の気候が、東京などの他の地域と比べて比較的温暖である理由を説明した次の文章の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものを選びなさい。「九州の太平洋側には（ ① ）が流れ、そこから分岐して東シナ海から日本海側へと（ ② ）が流れている。これらはどちらも（ ③ ）であり、周辺の気温を上げる役割を果たしている。」（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. ①黒潮（日本海流） ②リマン海流 ③暖流

2. ①親潮（千島海流） ②リマン海流 ③寒流

3. ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流

4. ①親潮（千島海流） ②対馬海流 ③寒流
- 問4 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. リマン海流

2. 対馬海流

3. 黒潮

4. 親潮
- 問5 鹿児島県の農業産出額の構成を他の都道府県と比較したとき、米や野菜の割合が小さく、ある部門が全体の半分以上という極めて高い割合を占めているという特徴があります。この背景と、その部門に該当する内容の組み合わせとして最も適切なものはどれか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）

1. 広大な平野と冷涼な気候を活かし、大規模な機械化による小麦やてんさいの栽培が盛んになった。

2. 冬でも温暖な気候を活かして、ビニールハウスを用いたピーマンやなすの促成栽培が盛んになった。

3. 夏の降水量が少ない気候を利用し、オリーブやレモンなどの果樹栽培が盛んになった。

4. シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。
- 問6 九州地方には多くの火山が分布していますが、その地下にあるマグマの熱を利用して電気を起こす発電方式を何といいますか。二酸化炭素の排出が少なく、持続可能なエネルギー源の一つとして注目されている名称を答えなさい。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 風力発電

2. 水力発電

3. 地熱発電

4. 太陽光発電
- 問7 九州地方南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大火山による噴火で発生した火砕流などの堆積物が積み重なって形成された台地を何といいいますか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 扇状地

2. カルデラ

3. シラス台地

4. 三角州
- 問8 地形図において大規模なくぼ地として示される地形で、火山の噴火活動によって形成された円形や馬蹄（ばてい）形の地形を何といいいますか。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 扇状地

2. カルデラ

3. 盆地

4. 火口
- 問9 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。（2019年 北海道公立入試 類似）

1. 大分県

2. 福岡県

3. 宮崎県

4. 鹿児島県
- 問10 熊本県の農業統計において、農業産出額が1,247億円に達する「野菜」と、1,147億円に達する「畜産」が大きな割合を占めている特色について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 果実と花きの生産に特化した構造となっており、野菜や畜産の産出額は全国平均を下回っている。

2. 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。

3. 近郊農業の特性を活かして野菜の生産のみに集中しており、畜産や米の生産はほとんど行われていない。

4. 広大な平野を利用した稲作に特化しており、農業産出額の大部分を米が占めている。
- 問11 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。

2. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。

3. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。

4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
- 問12 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。

2. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。

3. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。

4. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。
- 問13 九州地方の南端に位置する鹿児島県の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）

1. シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。

2. 九州新幹線の全線開通により、宮崎市との間の移動時間が大幅に短縮された。

3. 県全体がなだらかな平野で構成されており、日本有数の米どころとなっている。

4. 有明海に面した干拓地を利用して、大規模な海苔の養殖が行われている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シラス台地と呼ばれる火山灰が堆積した土地が広がっており、さつまいもの生産や豚の飼育が全国トップクラスである。	鹿児島県は、その土地の多くが火山灰由来のシラス台地で占められているため、大規模な畜産施設を設けるのに適しており、豚や黒毛和牛の生産が非常に盛んです。また、畑作ではさつまいもの生産量が日本一であり、これらは加工品や飼料としても利用されています。食料自給率が100%を大きく超えているのは、県内で消費する量をはるかに上回る食料を生産し、全国各地へ供給している「日本の食料基地」としての側面を持っているためです。
問2	答え 1 那覇市	沖縄県は日本で唯一の亜熱帯の気候帯に属しており、その県庁所在地である那覇市は、年間を通じて気温が非常に高いことが特徴です。統計によると、年平均気温は23.3度、1月の平均気温も17.0度と非常に温暖で、雪が降ることはほとんどありません。
問3	答え 3 ①黒潮（日本海流） ②対馬海流 ③暖流	低緯度（南の方）から流れてくる黒潮（日本海流）は、暖められた海水を運ぶ暖流です。この黒潮から枝分かれして日本海側へ流れ込む対馬海流も同じく暖流であり、これら2つの海流が九州を取り囲むように流れることで、冬でも沿岸部の気温が下がりにくくなります。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、九州の気候への直接的な影響は黒潮や対馬海流に比べると小さくなります。
問4	答え 3 黒潮	低緯度の暖かい海域から日本列島の太平洋側に沿って北上する暖流は、黒潮と呼ばれます。その色は深く澄んだ青色をしているため、黒っぽく見えることからこの名がつけました。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、対馬海流は九州の西側を通して日本海側へと流れる暖流です。
問5	答え 4 シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。	鹿児島県には火山噴出物が堆積してできたシラス台地が広く分布しています。シラス台地は水持ちが悪く稲作には不向きであったため、古くから畑作や畜産業が行われてきました。現在でもその傾向は強く、農業産出額において肉用牛、豚、鶏などの畜産部門が占める割合は、全国平均を大きく上回り全体の過半数に達しています。
問6	答え 3 地熱発電	日本は世界有数の火山国であり、地下のマグマの熱を利用して蒸気を取り出し、タービンを回して発電する仕組みが各地で導入されています。これは再生可能エネルギーの一つであり、天候に左右されにくい安定したエネルギー源として、環境負荷の低減にも貢献しています。
問7	答え 3 シラス台地	九州地方南部には、数万年前の巨大噴火による火山噴出物が数百メートルもの厚さで堆積した地形が見られます。この白っぽい砂状の堆積物は「シラス」と呼ばれ、それが広大な台地を形成しています。鹿屋市周辺など、大隅半島から薩摩半島にかけての広い範囲で見られる特徴的な地貌です。
問8	答え 2 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが大量に放出されると、地下に空洞ができます。その上の部分が自重で崩れ落ちることで、数キロメートル以上にわたる広大なくぼ地が形成されます。鹿児島県の桜島北方（始良カルデラ）や、熊本県の阿蘇山などが代表的な例です。一般的な火口よりも規模が格段に大きいのが特徴です。
問9	答え 3 宮崎県	宮崎県は、隣接する鹿児島県とともに日本有数の畜産地帯を形成しています。特に肉用牛の飼育が盛んであり、広大な土地と暖かい気候という条件が、大規模な畜産業の発展を支える背景となっています。
問10	答え 2 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。	熊本県の農業は、特定の品目に依存せず、米、野菜、畜産、果実、花きなどが幅広く生産されているのが大きな特徴です。2016年の統計データによれば、野菜の産出額が約1,247億円、畜産が約1,147億円となっており、これら2つの分野が県全体の農業経済を支える大きな柱となっています。
問11	答え 3 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問12	答え 4 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。	宮崎県は、鹿児島県とともに九州南部（南九州）を代表する畜産地帯です。肉用牛、豚、鶏などの飼育が非常に盛んで、農産物産出額における畜産の割合が極めて高いのが特徴です。また、冬でも温暖な気候を利用したビニールハウスによる野菜の「促成栽培」も盛んですが、米を中心とするのは福井県、果樹が目立つのは岡山県、冷涼な気候を活かした抑制栽培は岩手県などの東北や長野県の特徴であるため、これらと区別する必要があります。
問13	答え 1 シラス台地での畜産業が盛んで、特に豚の飼育頭数が全国トップクラスである。	鹿児島県は九州南部に位置し、火山灰が降り積もってきたシラス台地が広く分布しています。この土地条件を活かして豚やブロイラー（鶏）などの畜産業が非常に盛んで、特に「かごしま黒豚」などは全国的に有名なブランドとなっています。また、九州新幹線の全線開通は博多（福岡県）や新大阪方面との移動時間を大幅に短縮しましたが、宮崎市は新幹線のルートには含まれていません。

- 問1 九州地方北部に位置し、多くの半島や島々からなる複雑な海岸線を持ち、雲仙岳などの火山が分布する地域で行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 冬の多い積雪と豊富な地下水を活用した、大規模な水田単作経営 | 2. 「やませ」の影響による冷害を克服するために発達した、稲作と野菜の輪作 | 3. 海岸沿いに広がる広大な砂丘を利用した、スプリンクラーによる果樹栽培 | 4. 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作 |
|----------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問2 沖縄県の県庁所在地である那覇市の歴史的・地理的背景に関する説明として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。 | 2. 明治時代の廃藩置県において、鹿児島県の出先機関が置かれたことをきっかけに県庁所在地となった。 | 3. 九州地方の各県との物理的な距離が最も近いため、古くから九州の行政管区の一部として発展した。 | 4. 沖縄本島のちょうど中央部に位置し、米軍基地を返還した跡地に計画的に作られた行政都市である。 |
|---|---|--|--|
- 問3 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|-------|---------|
| 1. 園芸農業 | 2. 酪農 | 3. 稲作 | 4. 近郊農業 |
|---------|-------|-------|---------|
- 問4 九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------------|-------------|---------|
| 1. リマン海流 | 2. 黒潮（日本海流） | 3. 親潮（千島海流） | 4. 対馬海流 |
|----------|-------------|-------------|---------|
- 問5 日本の茶の生産量に関する統計において、1位の静岡県（約38%）に次いで、全国の約3割（約31%）を占める鹿児島県では、ある特殊な地形を利用して茶の栽培が盛んに行われています。この地形の名称と農業上の特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. カルデラと呼ばれ、火山が噴火してくぼんだ地形を利用して大規模な稲作が行われている。 | 2. 三角州と呼ばれ、河口付近に砂泥が積もった平坦な土地を利用して米の二期作が行われている。 | 3. 扇状地と呼ばれ、川が山地から平地に出る場所に堆積した土砂を利用して果樹園が作られている。 | 4. シラス台地と呼ばれ、水はけが良い性質を利用して茶やサツマイモなどの畑作が行われている。 |
|--|--|---|--|
- 問6 九州地方南部の太平洋側に位置する宮崎県において、年間降水量が3000mmを超える国内有数の多雨地域となり、かつ年間を通じて温暖な気候が形成される要因として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 黒潮（日本海流）の影響で気温は高いが、周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であるため、湿った空気が入り込まず降水量は少なくなる。 | 2. 寒流である親潮（千島海流）の影響により夏でも涼しく、冬にシベリア高気圧から吹き出す湿った北西の季節風の影響で降水量が多くなる。 | 3. 対馬海流の影響を受けて年間を通じて温暖だが、中国山地と四国山地に挟まれているため、年間を通じて降水量は少なくなる。 | 4. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖であり、夏から秋にかけての台風や湿った季節風の影響で降水量が多くなる。 |
|---|--|--|--|
- 問7 高知県や宮崎県では、冬季でも温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用することで、ピーマンやナスなどの作物を本来の時期よりも早く栽培・収穫して出荷しています。このような栽培方法を何といいますか。 (2020年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 露地栽培 | 2. 二毛作 | 3. 抑制栽培 | 4. 促成栽培 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問8 1990年代末から2010年にかけて、沖縄県を訪れる中国人観光客の数は474人から10,888人へと急増しました。このような変化が起きた背景にある、中国国内の経済状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 中国の経済格差が完全に解消され、すべての農村部の人々が自由に沖縄へ旅行できるようになった。 | 2. 中国のGDPが世界第1位に到達し、政府が国民全員に海外旅行を義務付ける制度を導入した。 | 3. 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。 | 4. 中国国内の農業生産が停滞したため、食料を確保するために近隣諸国へ渡航する人々が増加した。 |
|--|--|--|---|
- 問9 福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. せんい工業 | 2. 化学工業 | 3. 金属工業 | 4. 食料品工業 |
|----------|---------|---------|----------|
- 問10 九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培 | 2. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培 | 3. 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工 | 4. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業 |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問11 九州南部の鹿児島県周辺に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積して形成された台地を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|--------|---------|
| 1. シラス台地 | 2. 関東ローム層 | 3. 扇状地 | 4. カルデラ |
|----------|-----------|--------|---------|
- 問12 福岡市の月別降水量を分析すると、6月から9月にかけての月間降水量が150ミリメートルを大きく上回るピークが形成されています。初夏の梅雨の時期に加え、特に晩夏から初秋にかけて降水量が著しく増加する要因として、九州地方の地理的条件に関連する最も適切な説明はどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 夏から秋にかけてオホーツク海高気圧が発達し、冷涼で湿った北東の風が吹き込み続ける。 | 2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山地にぶつかり上昇気流を発生させる。 | 3. 対馬海流の影響で大気が安定し、年間を通じて雨の少ない瀬戸内式の気候を形成する。 | 4. 地理的に台風の進路にあたりやすいため、激しい雨をもたらす熱帯低気圧の影響を強く受ける。 |
|--|--|--|--|
- 問13 九州地方の周辺を流れる海流が、地域の生活や気候に与える影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。 | 2. 太平洋側を流れる親潮の影響で霧が発生しやすくなり、夏でも気温があまり上がらない冷涼な気候となる。 | 3. 北からのリマン海流が九州の日本海側に冷たい水を運ぶため、冬の九州北部は北海道と同じくらい寒冷になる。 | 4. 日本海を南下する対馬海流が、九州地方に乾燥した冷たい空気を運んでくるため、冬は降水量が非常に少なくなる。 |
|---|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 年間を通した温暖な気候を利用した、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作	長崎県は平地が少なく、傾斜地や島々が多いという地理的制約がありますが、年間を通じて温暖な気候に恵まれています。この気候を活かして、春と秋の年2回収穫を行う「ばれいしょの二毛作」や、びわ・みかんなどの果樹栽培が盛んに行われています。選択肢にある「やませ」は東北地方で見られる現象であり、積雪や砂丘の利用も長崎県の主な特徴とは合致しません。
問2	答え 1 かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。	那覇市は、琉球王国の王府があった首里の外港として古くから海外貿易などで栄えてきました。1879年の沖縄県設置（琉球処分）の際に県庁が置かれ、現在では那覇空港や那覇港を抱える沖縄の玄関口として、また、県内で最も人口の多い中心都市としての役割を担っています。
問3	答え 1 園芸農業	宮崎県は太平洋を流れる暖流である黒潮の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜を栽培する園芸農業が発達しました。特に、他の地域よりも出荷時期を早めて高値で販売する「促成栽培」が、平野部を中心に広く行われています。
問4	答え 4 対馬海流	この海流は、黒潮（日本海流）から分かれて日本海へと流れ込む暖流です。九州の西側を通り、南西から北東方向へ向かって北上することで、日本海側の地域の気候や漁業に大きな影響を与えています。
問5	答え 4 シラス台地と呼ばれ、水はけが良い性質を利用して茶やサツマイモなどの畑作が行われている。	鹿児島県に広がるシラス台地は火山灰などの堆積物で構成されており、水が地下に浸透しやすい性質を持っています。水田稲作には適さないこの土地の特性を活かし、乾燥に比較的強い茶やサツマイモなどの栽培が広まりました。特に茶の栽培においては、広大で平坦な台地の特性を活かした機械化が進んでおり、全国有数の生産量を支えています。
問6	答え 4 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖であり、夏から秋にかけての台風や湿った季節風の影響で降水量が多くなる。	宮崎県は日本の南東部に位置し、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を強く受けるため、年平均気温が約18度と高くなります。また、夏には太平洋側から湿った南東の季節風が吹き込むほか、秋にかけては台風の通り道になりやすいため、7月の降水量が350mmを超えるなど、夏季を中心に極めて降水量が多い「太平洋側の気候」の典型的な特徴を示します。
問7	答え 4 促成栽培	宮崎県や高知県などの黒潮の影響を受ける温暖な地域では、冬でも暖かい気候を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて成長を早める栽培が行われています。これにより、他の地域での生産が少ない冬から春にかけて農作物を出荷でき、市場で高い価格で販売することが可能になります。
問8	答え 3 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。	中国では継続的な経済成長により、2010年にはGDP（国内総生産）が日本を抜いて世界第2位となりました。この経済発展に伴って都市部を中心に国民の生活水準が向上したことが、海外旅行を希望する層の増加につながりました。沖縄は地理的に中国に近いこともあり、リゾート地としての需要が急速に高まったことが、観光客数の劇的な増加の主な要因です。
問9	答え 2 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問10	答え 4 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業	鹿児島県の大半を覆うシラス台地は、水分を保持しにくい性質があるため、水田稲作よりも畑作に適しています。このため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した肉用牛・豚・鶏（ブロイラー）などの畜産業が組み合わされ、全国有数の農業地帯となりました。他の選択肢のうち、促成栽培は宮崎平野や高知平野、果樹栽培は愛媛県や和歌山県、大規模な酪農は北海道などで顕著に見られる特色です。
問11	答え 1 シラス台地	九州南部に分布するこの台地は、巨大な噴火による火砕流などの堆積物によって作られました。この土壌は非常に厚く堆積しており、地域の農業のあり方に大きな影響を与えています。
問12	答え 4 地理的に台風の進路にあたりやすいため、激しい雨をもたらす熱帯低気圧の影響を強く受ける。	九州地方は日本の南西部に位置しており、夏から秋にかけて発生する台風の進路にあたりやすいという地理的特徴があります。そのため、6月前後の梅雨による降水だけでなく、8月から9月にかけて台風が接近・上陸することで降水量が著しく増加し、大きな山を形成する気候特性を持っています。
問13	答え 1 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。	九州地方は、太平洋側に黒潮（日本海流）、日本海側に対馬海流という2つの暖流が流れています。暖流は周囲の空気を暖める性質があるため、これらの海流の影響を受ける九州地方の沿岸部では、冬でも氷点下になる日が少なく、温暖な気候が保たれます。選択肢にあるリマン海流や親潮は寒流であり、これらは主に北日本などの気候に影響を与えるものです。

- 問1 九州地方の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮の影響を強く受けています。この地域の気候の特色を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく乾燥している。
 2. 1月の平均気温が0度を下回り、夏は短く涼しいが、冬の寒さは非常に厳しい。
 3. 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。
 4. 北西からの季節風の影響で、冬の降水量が非常に多く、雪が降りやすい。
- 問2 鹿児島県周辺に広がるシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、または畜産が盛んに行われてきた理由として最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の成長が早すぎるため。
 2. 土壌が非常に硬く、田を耕すことが困難であるため。
 3. 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。
 4. 標高が高く、夏でも気温が上がらず冷害が発生しやすいため。
- 問3 沖縄県の農業は、温暖な気候を活かした亜熱帯農業が特徴です。農業産出額の品目別割合を示した統計において、さとうきびなどの工芸作物を含む項目の割合が約40パーセントに達し、全国的に見ても独自の構成となっています。この項目に含まれる、沖縄県で生産が盛んな代表的な工芸作物はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
1. 稲（米）
 2. 茶
 3. さとうきび
 4. 野菜
- 問4 九州地方のある県における2019年の農産物産出額の統計では、上位から順に「肉用牛」、「豚」、「ブロイラー（鶏）」、「鶏卵」となっており、上位4品目すべてを畜産関連が占めています。このような特徴を持つ県として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 福岡県
 2. 宮崎県
 3. 鹿児島県
 4. 熊本県
- 問5 宮崎平野や高知平野で行われている促成栽培には、生産者にとってどのような利点があるか。最も適切な説明を選べ。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. 夏の涼やかな気候を利用して、暑さに弱い野菜を品質良く栽培できる。
 2. 広大な土地を利用して、大型機械を使った効率的な生産ができる。
 3. 消費地である大都市に近いので、新鮮なまま輸送コストを安く抑えられる。
 4. 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。
- 問6 北九州市では、かつて経済を支えた鉄鋼業などの重厚長大産業が衰退し、産業構造の転換期を迎えています。1980年ごろを境に人口減少が続いている状況において、都市の土地利用に見られる変化として最も適切な説明はどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)
1. 鉄鋼業の再興を待つため、工場跡地は一切の手を加えられず放置されている
 2. 広大な工場跡地が、住宅地や商業施設へと再開発されている
 3. 食料自給率を向上させるため、工場跡地のすべてが農地に転換されている
 4. 人口減少を食い止めるため、工場跡地をすべて大規模な公営墓地にしている
- 問7 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。
 2. 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。
 3. 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。
 4. 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。
- 問8 人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。
 2. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。
 3. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。
 4. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。
- 問9 鹿児島県の農業において、米や野菜の生産額よりも畜産の生産額が圧倒的に多くなっている背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候を利用して、大消費地向けの野菜を他の地域より早く出荷する促成栽培に特化したため。
 2. 火山噴出物によるシラス台地が広く分布し、水はけが良すぎて稲作に適さない土地を有効活用するため。
 3. 平野部が極めて狭く、山地での放牧が唯一の農業手段として古くから定着してきたため。
 4. 梅雨時期の降水量が極端に少ないため、乾燥に強い家畜の飼育が地域の主要産業となったため。
- 問10 沖縄県の観光産業における現状と課題について、外国人観光客の満足度や不満度の統計的な傾向をふまえて説明した文として、適切なものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 宿泊施設での対応には満足している一方で、観光地でのWiFi環境が完全に整備されているため不満は存在しない。
 2. 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。
 3. 現地の食事や土産品に対する満足度が著しく低く、観光資源の質の向上が求められている。
 4. 公共交通機関の利便性については高く評価されているが、外国語での案内表示が全くないことが不満に繋がっている。
- 問11 沖縄県は年間降水量が全国的に見ても多い地域ですが、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。その自然環境的な理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
1. 地形が平坦で大規模な盆地が多いため、雨水が地表に溜まらずにすぐ地下へ浸透してしまうから。
 2. サンゴ礁が発達している影響で、河川に塩分が混じりやすく飲料水として利用できる水が限られているから。
 3. 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。
 4. 年間を通して日照時間が非常に長く、ダムに蓄えられた水の大部分が蒸発して失われてしまうから。
- 問12 地形図において、標高の高い平坦な面である「台地」の部分に、アルファベットの「V」の字に似た地図記号が多数記されている場所があります。シラス台地におけるこの場所の状況を説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 雨水を溜めるための調整池が並ぶ、水田地帯になっている。
 2. 火山灰の飛散を防ぐために、落葉広葉樹が植えられた森林になっている。
 3. 地力を高めるために、果樹の苗木を植えたばかりの果樹園になっている。
 4. 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。	宮崎県は日本の南部に位置し、さらに沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、1月の平均気温が約10度におよぶなど、冬でも非常に温暖です。また、夏から秋にかけては太平洋側から吹く湿った季節風や台風の影響を強く受けるため、梅雨時期の6月や台風シーズンの9月に降水量が急増し、年間降水量が極めて多い「太平洋側の気候」に属します。これに対し、冬に降水量が多いのは日本海側の気候、年間を通じて降水量が少ないのは瀬戸内側の気候や中央高地の気候の特徴です。
問2	答え 3 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。	シラスは火山から噴出した粒子の集まりであり、粒と粒の間に隙間が多いため、水を通しやすいという性質を持っています。そのため、水田に必要な水を溜めておくことが難しく、乾燥に強い作物を中心とした畑作が発達しました。
問3	答え 3 さとうきび	沖縄県は年間を通じて温暖な亜熱帯気候に属しており、他の都道府県では栽培が困難な作物が中心となっています。特に、砂糖の原料となる「さとうきび」は、加工を目的として栽培される「工芸作物」に分類されます。沖縄県ではこの工芸作物の産出額が非常に大きく、統計上でも大きな割合を占めているのが特徴です。一方で、水資源の確保が難しい島嶼部の特性などから、稲作の割合は極めて低くなっています。
問4	答え 3 鹿児島県	鹿児島県は九州地方の南部に位置し、広大なシラス台地を利用した畜産業が非常に盛んです。特に肉用牛、豚、ブロイラーの産出額は全国でもトップクラスであり、農業産出額の多くをこれらの畜産品が占めているのが特徴です。選択肢にある宮崎県も畜産業は盛んですが、この統計順位に最も合致するのは鹿児島県です。
問5	答え 4 他の地域が出荷できない時期に出荷することで、高い価格で販売できる。	促成栽培は、冬でも暖かい気候やビニールハウスを利用して野菜を早く育て、他の産地からの出荷が少ない冬から春にかけて出荷することで、高値での販売を狙っています。「輸送コスト」は近郊農業、「冷涼な気候」は抑制栽培、「大型機械」は北海道などの農業の特徴です。
問6	答え 2 広大な工場跡地が、住宅地や商業施設へと再開発されている	北九州市は官営八幡製鉄所の創業以来、鉄鋼業を中心に発展してきましたが、産業構造の変化や海外との競争激化により鉄鋼業が占める割合は低下しました。これに伴い、かつての広大な工場跡地は、都市の活力を取り戻すために大規模な再開発の対象となり、テーマパークやショッピングモール、集合住宅などに姿を変えています。このように、古い産業の基盤を新しい都市機能へ書き換える動きが各地で見られます。
問7	答え 3 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。	鹿児島県は、シラス台地の特性を活かした肉用牛、豚、鶏などの畜産業が日本屈指の規模を誇ります。これらの地元の農産物を原料として、精肉加工や缶詰、焼酎、菓子などの「食料品」へと加工する工業が地域に根付いているため、農業と工業が密接に関係しながら産業構造を形作っています。
問8	答え 3 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。	沖縄県は全国で最も高い出生率を背景に、統計上で人口増減率がプラスを示す特徴があります。産業面では、輸送コストや電力供給の制約から大規模な重化学工業が発達しにくい、製造品出荷額は低くなります。その一方で、肉用牛や豚などの畜産業、さらにはサンゴ礁の発達した海域での海面漁業など、地域の自然環境を活かした第一次産業が統計上の特色となっています。北海道や鹿児島県も畜産業や漁業が盛んですが、人口増減率の傾向が異なります。
問9	答え 2 火山噴出物によるシラス台地が広く分布し、水はけが良すぎて稲作に適さない土地を有効活用するため。	鹿児島県には過去の火山活動によって形成された「シラス台地」が広がっています。この地層は水はけが良すぎて水田に必要な水を貯めることが難しいため、稲作よりも、サツマイモ栽培や、広い土地を必要とする畜産業が盛んになりました。現在では、この環境を活かして肉用牛、豚、鶏のいずれにおいても全国トップクラスの生産量を誇っています。
問10	答え 2 言葉によるコミュニケーションへの評価が低く、インターネット接続環境への不満が目立つ。	外国人観光客が沖縄観光において直面している課題は、主にソフト面（外国語対応）と通信インフラ面（WiFi）に集中しています。統計データにおいて「外国語対応能力」の満足度が最低水準であり、かつ「WiFi」への不満が最高水準であるという事実は、観光客が滞在中に情報の取得や発信にストレスを感じている状況を反映しています。食事や土産品といった要素よりも、これらの受け入れ態勢の整備が急務となっています。
問11	答え 3 山地から海までの距離が近く河川の長さが極端に短いため、降った雨が蓄えられず速やかに海へ流出してしまうから。	沖縄県の河川は、全国平均と比較して長さが非常に短いという特徴があります。沖縄島南部などの地図を確認すると、山地から海へ直接注ぐような短い河川が数多く見られます。このような急峻で狭い地形では、台風や梅雨によって一時的に大量の雨が降っても、その水が内陸に留まることなく短時間で海へ流れ出てしまいます。この地理的要因が、降水量が多いにもかかわらず水資源の確保を困難にしている背景にあります。
問12	答え 4 水はけの良さを利用して、サツマイモや飼料作物などが栽培される畑になっている。	「V」の字のような地図記号は「畑」を表します。シラス台地はその地質上の特性から水が得にくく、かつては「不毛の台地」とも呼ばれましたが、その水はけの良さを逆手に取り、乾燥に強いサツマイモや、現代では広大な土地を活かした畜産のための飼料作物の栽培など、大規模な畑作農業が展開されています。

- 問1 九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 対馬・リマン海流 2. 壱岐・日本海海流 3. 対馬・対馬海流 4. 壱岐・対馬海流
- 問2 鹿児島県において、火山活動による噴出物が堆積して形成された台地は、標高が急上昇したのちに平坦な面が広がる地形で構成されています。この台地を形成し、水はけが非常に良いという性質を持つ地層や物質の名称として、最も適切なものを選択してください。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
1. 関東ローム 2. 泥炭 3. シラス 4. マサ土
- 問3 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
2. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
3. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。
4. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
- 問4 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。
2. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。
3. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。
4. 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。
- 問5 沖縄県の農産物において、県全体の栽培面積の割合を見ると、本島北部の東村が34%、石垣市が27%、国頭村が9%、名護市が8%を占めている果実があります。この果実の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. パイナップル 2. マンゴー 3. スイカ 4. 紅芋
- 問6 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)
1. シラス台地 2. カルデラ 3. 扇状地 4. 三角州
- 問7 九州地方に位置するある県は、年間の農業産出額が4000億円を超え、全国でも有数の農業県として知られています。この県の農業産出額の内訳において、豚や肉用牛、ブロイラーなどの「畜産」が占める割合は約60.9%と過半数に達していますが、この県はどこですか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
1. 鹿児島県 2. 北海道 3. 宮崎県 4. 茨城県
- 問8 土地の条件に応じた人々の生活の工夫について、南九州のシラス台地における水利用の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
1. 土地が非常に平坦で水が滞留しやすいため、住居を高く盛り土した「輪中」のような構造の中に井戸を掘った。
2. 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。
3. 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいので、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。
4. 水田稲作に適した粘土質の土壌が広がっているため、ため池を各地に作り、網の目のような用水路を張り巡らせた。
- 問9 九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 二毛作 2. 近郊農業 3. 抑制栽培 4. 促成栽培
- 問10 東京から各都市への鉄道による移動時間を地図上の距離に置き換えた変形地図において、2010年から2014年の間に、九州南部方面の距離が他の主要都市と比べて劇的に短く変化した様子が示されることがあります。このような変化をもたらした主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
1. 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと
2. リニア中央新幹線の先行区間が開業し、西日本方面への移動が高速化したこと
3. 青函トンネルの開通により、本州と周辺の島々を結ぶ鉄道網が連結されたこと
4. 格安航空会社（LCC）の就航が相次ぎ、空路による移動の選択肢が増えたこと
- 問11 1990年代末から2010年にかけて、沖縄県を訪れる中国人観光客の数は474人から10,888人へと急増しました。このような変化が起きた背景にある、中国国内の経済状況の説明として最も適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
1. 中国のGDPが世界第1位に到達し、政府が国民全員に海外旅行を義務付ける制度を導入した。
2. 中国国内の農業生産が停滞したため、食料を確保するために近隣諸国へ渡航する人々が増加した。
3. 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。
4. 中国の経済格差が完全に解消され、すべての農村部の人々が自由に沖縄へ旅行できるようになった。
- 問12 九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県
2. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県
3. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県
4. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県
- 問13 九州地方南部に位置する鹿児島県では、肉用牛や豚、ブロイラーといった畜産業が全国有数の規模で行われています。このように、鹿児島県で稲作よりも畜産業や畑作が発展した地理的な要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に向かないであったため。
2. 日本海を流れる対馬海流の影響で年間を通じて降水量が多く、牧草の成長が早いから。
3. 平野部が広大で機械化が容易であり、大規模な牧草地の確保が容易であったため。
4. 内陸部の盆地において、冬の厳しい寒さを利用した飼育方法が確立されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 対馬・対馬海流	九州の北方に位置する対馬は、朝鮮半島との距離が近く、古くから外交や貿易の要衝としての役割を果たしてきました。この対馬の近海を通り、東シナ海から日本海へと北上する暖流は対馬海流と呼ばれます。選択肢にある奄岐は対馬と九州本土の間に位置する島であり、リマン海流は日本海を南下する寒流のことです。
問2	答え 3 シラス	鹿児島県などの南九州に広く分布するこの地層は、過去の巨大カルデラ噴火による火砕流などの噴出物が堆積してできました。多孔質で水はけが極めて良いため、稲作には不向きですが、サツマイモや茶などの畑作が盛んに行われています。関東地方に見られる火山灰層である関東ロームと混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 4 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。	福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。
問4	答え 3 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。	宮崎市の気候データでは、低緯度であることと暖流の影響により、冬場の気温が他地域に比べて高いことが最大の特徴です。降水量の推移については、初夏の梅雨（6月）と秋の台風（9月）の時期に明確な山（ピーク）が形成され、年間の合計降水量も全国的に見て高い水準になります。選択肢にある「冬の降水量が1年で最も多い」ものは日本海側の気候、「年間の降水量が1200mm程度と非常に少ない」ものは降水が遮られる瀬戸内側の気候の特徴を示しています。
問5	答え 1 パイナップル	東村や石垣市は、沖縄県特有の酸性の赤土（国頭マージ）が広がる地域であり、この土壌に適したパイナップルの栽培が大規模に行われています。特に本島北部の東村は「パインの村」として知られ、県内最大の栽培面積を誇ります。選択肢にあるマンゴーやスイカも沖縄で栽培されていますが、東村や石垣市が突出した割合を示すのはパイナップルの特徴です。
問6	答え 2 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。
問7	答え 1 鹿児島県	鹿児島県は、火山噴出物が積み重なってできたシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪いため稲作には不向きな土地が多く存在しました。そのため、畑作や畜産が発展し、現在では豚、肉用牛、ブロイラーの飼育頭数が全国トップクラスとなっています。農業産出額の6割以上を畜産が占めるという構造は、全国的に見ても非常に顕著な特色です。
問8	答え 3 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。	シラスは火山灰などの噴出物が積み重なってできた土壌であり、非常に水を通しやすい性質を持っています。台地の上では水がすぐに地下へ抜けてしまうため、古くから水不足に悩まされてきました。この問題を解決するために、鹿児島県の一部地域では60メートルを超えるような深い垂直の井戸を掘り、地下深くの帯水層から水を汲み上げる工夫がなされました。これは、関東地方の火山灰土である関東ローム層とは異なる、シラス特有の堆積の厚さと性質に起因するものです。
問9	答え 4 促成栽培	宮崎県などの温暖な地域では、冬の暖かさを活かしたり、施設内で温度調節を行ったりすることで、本来の収穫時期よりも早く作物を育てる手法がとられています。これにより、他の地域からの出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することが可能になります。対義的な用語である「抑制栽培」は、高冷地などの冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法を指します。
問10	答え 1 九州新幹線の全線開業により、山陽新幹線との直通運転が開始されたこと	交通網の整備、特に新幹線の開業は「時間距離」を大幅に縮小させます。2011年の九州新幹線の全線開業は、それまで乗り換えが必要だった九州南部と本州を直結させ、地図上で表現した際の「東京からの時間的距離」を劇的に短縮させる要因となりました。他の選択肢にあるLCは航空路、リニアは将来計画や別区間、青函トンネルは北海道方面に関する記述であるため、九州の変化の説明としては不適切です。
問11	答え 3 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。	中国では継続的な経済成長により、2010年にはGDP（国内総生産）が日本を抜いて世界第2位となりました。この経済発展に伴って都市部を中心に国民の生活水準が向上したことが、海外旅行を希望する層の増加につながりました。沖縄は地理的に中国に近いこともあり、リゾート地としての需要が急速に高まったことが、観光客数の劇的な増加の主な要因です。
問12	答え 1 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県	宮崎県は広大な土地や気候条件を背景に、ブロイラーや豚などの飼育が盛んな「畜産王国」としての側面を持っています。対して福岡県は、北九州工業地帯の歴史的背景や、近年の自動車工場の進出などにより、九州の工業を牽引する立場にあります。選択肢に含まれる佐賀県は、平野部で米の生産が盛んですが、工業出荷額や畜産の割合で宮崎県や福岡県を上回ることはありません。
問13	答え 1 火山灰が積み重なってできたシラス台地は水持ちが悪く、稲作に不向きであったため。	鹿児島県の大部分を覆うシラス台地は、火山噴出物が堆積してできたもので、水はけが良すぎるために水を溜めておくことが難しく、古くから稲作には適さない土地でした。そのため、水分をそれほど必要としないサツマイモや茶などの畑作に加え、広い土地を有効に活用できる肉用牛や豚、ブロイラーなどの畜産業が地域の基幹産業として発展しました。

- 問1 地熱発電は、太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較して、エネルギー源としてどのような利点があると考えられますか。その理由を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）を安価に輸入できるため、発電コストを低く抑えられる点 | 2. ダムを建設して水を蓄えることで、電力需要の変化に応じて瞬時に発電量を調整できる点 | 3. 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点 | 4. 二酸化炭素を全く排出せず、放射性廃棄物の処理も必要ないため、環境への負荷が最も低い点 |
|--|---|--|---|
- 問2 日本の南西諸島に見られる自然環境について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。沖縄県や鹿児島県の奄美大島において、新しい観光資源としても注目されている、亜熱帯地域の海岸付近や河口の湿地に見られる樹木群の名称を含んだものを選びなさい。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. サング礁は、河口付近の泥が堆積した湿地において、樹木とともに森を形成している。 | 2. ブナの原生林は、亜熱帯の海岸付近で見られる代表的な植物であり、湿地帯に自生している。 | 3. マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。 | 4. 針葉樹林は、温暖な気候の南西諸島において、海岸線の砂浜に広く分布している。 |
|--|---|--|--|
- 問3 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（か）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。 | 2. 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。 | 3. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。 | 4. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。 |
|--|--|--|---|
- 問4 沖縄県の海岸沿いで見られる、潮の満ち引きがある場所に生育する常緑広葉樹の集まりについて、波の衝撃を和らげる「天然の防波堤」としての役割を果たしている植物群の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|---------|--------|----------|
| 1. マングローブ | 2. サング礁 | 3. パナナ | 4. なつめやし |
|-----------|---------|--------|----------|
- 問5 九州地方南部に位置する鹿児島県では、第1次産業の就業人口割合が約9.5%と全国平均に比べて高く、農業が盛んです。この県の土地利用の特徴として、耕地面積に占める畑の割合が約68%と非常に高いことが挙げられますが、このように畑作や畜産が中心となった主な理由として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 夏の降水量が極端に少なく、大規模なため池を作ることが技術的に困難であったから。 | 2. シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。 | 3. 平野部がほとんど存在せず、急峻な傾斜地を利用した果樹園の経営が中心となったから。 | 4. 冬の積雪量が多く、1年の半分以上を農作業に充てることができない気候特性があるから。 |
|--|---|---|--|
- 問6 大分県における1970年から1980年の人口推移は、それまでの横ばいの状態から一転して右肩上がりの増加を示しています。このような人口の伸びが見られた背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 大都市圏で深刻な干ばつが発生し、水資源が豊かな九州地方へ農業従事者が移動したため | 2. 第一次石油危機の影響で大都市の全ての工場が閉鎖され、強制的な帰郷が命じられたため。 | 3. バブル経済の影響により大都市圏の地価が高騰し、住居を求めた人々が地方へ一斉に避難したため。 | 4. 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。 |
|---|--|--|---|
- 問7 九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 牧之原台地 | 2. 武蔵野台地 | 3. シラス台地 | 4. 根釧台地 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問8 九州地方の平野とその特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|---|
| 1. 熊本平野は、九州南部に位置し、冬の温暖な気候を利用した野菜の促成栽培が盛んである。 | 2. 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。 | 3. 宮崎平野は、九州北部に位置し、筑後川の水を利用した米作りが盛んである。 | 4. 筑紫平野は、九州南部に位置し、シラス台地でのサツマイモ栽培が中心である。 |
|--|-------------------------------------|--|---|
- 問9 九州地方の宮崎平野などで盛んな、冬でも温暖な気候やビニールハウスなどの施設を利用することで、作物の成長を早めて出荷時期をずらす栽培方法を何といいますか。（2022年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 二毛作 | 2. 抑制栽培 | 3. 促成栽培 | 4. 近郊農業 |
|--------|---------|---------|---------|
- 問10 熊本県の農業産出額の内訳を分析したとき、野菜と畜産の産出額がいずれも1,100億円を超えている状況から読み取れる、この地域の農業の強みとしてふさわしい説明を選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|--|
| 1. 米の産出額が他の品目を圧倒しており、単作地帯としての特色が強い。 | 2. 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。 | 3. 野菜の産出額は高いものの、畜産や果実の生産は減少傾向にあり、特定の品目への依存が進んでいる。 | 4. 農産物の輸出に特化しているため、国内向けの野菜や畜産の生産額は極めて低い。 |
|-------------------------------------|--|---|--|
- 問11 九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 沖縄県 | 2. 大分県 | 3. 佐賀県 | 4. 愛知県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
| 1. 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。 | 2. 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。 | 3. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。 | 4. 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため |
|------------------------------------|---|---|--------------------------------------|
- 問13 福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興 | 2. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成 | 3. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培 | 4. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖 |
|--------------------------|----------------------------|-----------------------------|---------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天候や昼夜を問わず、火山活動による地下の熱源から常に安定して発電を続けることができる点	太陽光発電は晴天時や日中に限られ、風力発電は風の強さに左右されますが、地熱発電は地下の熱を利用するため、自然条件の変化を受けにくいという特徴があります。このため、年間を通じて安定した電力を供給できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問2	答え 3 マングローブは、塩分を含む水域に適応した樹木群であり、独特の生態系を形成している。	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の河口付近など、海水と淡水が混ざり合う「汽水域」の湿地に発達する植物群の総称です。日本では沖縄県や鹿児島県の奄美大島などに自生しており、塩分に耐える特別な仕組みを持っています。多様な生物の生息地となっていることから、その豊かな自然環境はエコツーリズムなどの観光資源としても活用されています。
問3	答え 4 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。	南西諸島の伝統的な民家は、サンゴ礁を利用した石垣で囲まれていることが多く、これは台風などの強風から家を守る役割を果たしています。また、屋根には風に強いとされる赤瓦が使われ、さらに瓦が吹き飛ばされないよう漆喰で継ぎ目を固めているのが外観上の大きな特徴です。急勾配の屋根は白川郷などの合掌造り、防風林は関東平野や平屋などで見られる工夫です。
問4	答え 1 マングローブ	マングローブは、熱帯や亜熱帯地域の、海水と淡水が混ざり合う汽水域の海岸沿いに発達する植物群落のことです。常に葉をつけている常緑広葉樹であり、その複雑に絡み合った根の構造が、波のエネルギーを吸収・緩和して背後の陸地を守る天然の防波堤として機能しています。
問5	答え 2 シラス台地と呼ばれる火山灰が降り積もった土地が広がり、水持ちが悪いため稲作に不向きであったから。	鹿児島県を含む九州南部には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、かつては大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）などの畜産が発展しました。
問6	答え 4 高度経済成長が終わりを迎え、それまで激しかった大都市圏への移住者が減少したため。	1970年代に入り高度経済成長が終わりの時期を迎えると、それまで続いていた地方から三大都市圏への大規模な人口流出（移住）が落ち着きました。これに加え、地方における雇用創出の取り組みが実を結んだことで、大分県などの地方都市において人口の増加が見られるようになりました。バブル経済による地価高騰は1980年代後半の出来事であり、時代背景が異なります。
問7	答え 3 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、火山の噴出物（火山灰など）で構成されています。水はけが良すぎて水田に適さなかったため、肉用牛や豚、鶏などの畜産や、サツマイモなどの畑作が盛んになりました。ちなみに根釧台地は北海道の酪農地帯、牧之原台地は静岡県一の茶の産地です。
問8	答え 2 筑紫平野は、九州北部に位置し、広大な水田が広がる稲作地帯である。	筑紫平野は九州北部に位置し、稲作が盛んな地域です。宮崎平野は九州南東部に位置し、野菜の促成栽培で知られています。熊本平野は九州中部に位置し、い草やトマトなどの栽培が行われています。シラス台地は九州南部に広がる火山灰性の台地です。
問9	答え 3 促成栽培	宮崎県などの温暖な地域では、冬の暖かさを活かしたり、施設内で温度調節を行ったりすることで、本来の収穫時期よりも早く作物を育てる手法がとられています。これにより、他の地域からの出荷が少ない冬から春にかけて市場に供給することが可能になります。対義的な用語である「抑制栽培」は、高冷地などの冷涼な気候を利用して出荷時期を遅らせる方法を指します。
問10	答え 2 野菜と畜産の両方で高い産出額を維持しており、多角的な農業経営が実現されている。	熊本県は、阿蘇の外輪山周辺での畜産や、平野部での野菜栽培など、多様な地形を活かした農業が行われています。統計においても、野菜（1,247億円）と畜産（1,147億円）という、本来は異なる形態の農業が共に出色な数値を記録しており、バランスの取れた産出構造であることが、地域の農業の安定性と強みにつながっています。
問11	答え 2 大分県	九州地方には火山が多く、その恩恵として温泉資源が豊富に存在します。特に大分県は、別府や由布院といった全国的に有名な温泉地を擁しており、源泉数および湧出量において全国1位の規模を誇っています。この特徴から、観光業が地域の重要な産業となっています。
問12	答え 3 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。	南九州には、火山の噴出物による「シラス台地」が広がっています。シラスは水はけが非常に良く、水分を蓄える力（保水力）が低いため、水を張る必要がある稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地と温暖な気候を利用して、牛や豚を育てる畜産業や、畑作が発展しました。
問13	答え 2 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成	北九州市はかつて激甚な公害に見舞われたが、市民・企業・行政の協力によりこれを克服した歴史を持つ。現在ではその技術やノウハウを生かし、廃棄物リサイクル施設などを集積させたエコタウン事業を展開し、環境産業都市としての発展を目指している。